



2025 年 10 月 24 日
株式会社みずほ銀行

株式会社バックス・バイオイノベーションへの出資について ～トランジション領域におけるバイオものづくりの取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、バイオものづくりに必要となる、スマートセル^{※1} の設計・開発を行う株式会社バックス・バイオイノベーション（代表取締役社長兼 CEO：近藤 昭彦、以下「バックス」）との間で株式引受契約を締結し、本日、出資（以下「本出資」）を行いました。本出資は、みずほ銀行の「トランジション出資枠」^{※2} を活用したものです。

バイオものづくりは、遺伝子技術を活用して設計された微生物や動植物などの細胞によって有用な物質を生産する技術です。化石資源を原料とした化学合成による従来の生産プロセスから、バイオものづくりへの転換は、脱炭素をはじめとするさまざまな社会課題の解決に貢献することが期待されています。

2020 年に創業したバックスは、微生物の育種から開発プロセスまでを包括したバイオフィアウンドリ（微生物開発・設計の自動化・高速化基盤）事業を展開しており、量産化を見据えたスマートセルの設計・開発を実施することで、バイオものづくりの社会実装を目指しています。

みずほ銀行は、環境・社会の持続性向上に資する領域（トランジション領域）におけるお客さまの挑戦をサポートすべく、シード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）の段階から、トランジション領域にてお客さまが関与するプロジェクト等に戦略的に出資することで、お客さまと機会とリスクを共有し、広く環境・社会の持続性向上に資する社会的価値を共創していくことを目指しています。

既存の化石資源を中心とした産業構造からの転換には、バイオものづくり技術及びビジネスモデルの確立と社会課題解決を契機とした新たな市場の創出が必要だと考えており、トランジション出資枠の初号案件となった、株式会社シンプロジェンへの出資^{※3} に続き、本出資を行うことで、〈みずほ〉はバイオものづくりに関する技術知見・業界知見を更に向上し、バイオエコノミー市場の拡大と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

※1 スマートセル：目的物質の効率的な生成のため機能を高度にデザインした微生物

※2 トランジション出資枠：

お客さまが実施するシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）等の開発段階や創業段階にあるトランジション領域に関するプロジェクト等に対し、戦略的、且つ、機動的に投資するための株式出資枠。戦略的且つ機動的な出資判断を行うために、みずほ銀行産業調査部やみずほリサーチ&テクノロジーズを中心に、長年培ってきた〈みずほ〉のトランジション領域に関する産業知見や環境技術知見を最大限に活用

2023年3月13日付 みずほFG ニュースリリース：トランジション領域における出資枠の対象範囲拡大について
https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230313release_jp.pdf

※3 2022年12月9日付 ニュースリリース：

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20221209release_jp.pdf

みずほ銀行・シンプロジェンにおける出資契約の締結について ～トランジション領域における出資枠の初号案件～

【出資先企業の概要】

会 社 名	株式会社バッカス・バイオイノベーション
事 業 開 始	2020年3月18日
本 社 所 在 地	兵庫県神戸市中央区港島南町六丁目3番7
代表取締役社長兼 CEO	近藤 昭彦
事 業 内 容	バイオフィアウンドリ(統合型バイオフィアウンドリ® ^{※4})

※4 統合型バイオフィアウンドリは株式会社バッカス・バイオイノベーションの登録商標です。

以 上